

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

地域経済分析システム(RESAS)

国内最大級のオープンデータプラットフォームである地域経済分析システム(RESAS)をアップデートしました

経済産業省は、多様なユーザーがデータを容易に利活用できる環境を実現するため、地域経済分析システム(RESAS:リーサス)の使いやすさを向上させつつ、アップデートしました。

地域経済分析システム(以下「RESAS」という。)は、経済産業省と内閣官房が2015年から提供しているデータプラットフォームです。RESASを使えば、地域経済に関する官民のビッグデータを地図上やグラフで分かりやすく、簡単に、見える化できます。ID登録などの事前手続は不要で、全てのメニューを無料で利用できます。

この度、以下のとおり、1. 新メニュー「クレジットカード消費地分析」、「クレジットカード消費額分析」、「地域経済総合分析」の追加、2. 既存メニューにおける機能の高度化、3. 各種メニューにおけるデータの更新について、RESASをアップデートしました。

【新メニューの追加】

(1)「クレジットカード消費地分析」、「クレジットカード消費額分析」
クレジットカード消費地分析、クレジットカード消費額分析は、クレジットカードの消費情報を活用し、都道府県・市区町村単位で、選択地域の入込人数、平均滞在時間、前後経路、消費総額、消費単価などを表示します。なお、両メニューは四半期ごとのデータ更新を予定しています。

(2)「地域経済総合分析」

地域経済総合分析は、都道府県と市区町村を選択すると、地域の基幹産業、生活関連産業、小規模事業者、将来人口、自然増減、社会増減、民間消費、観光の入込人数、消費額などのデータをレポート形式で表示します。

<経済産業省HPより抜粋>



当該ページは
こちらから

MEMO

ビジネスひと口メモ

AI時代の広報 ～SEOの先にある「透明性」戦略～

AIが情報を整える今、企業が発信すべきは「きれいな情報」ではなく「裏側にある試行錯誤のリアル」です。検索対策や整ったサイト作りは基本として大切ですが、それだけでは信頼に繋がりにくくなりました。AIを使えば、整った情報は誰でも作れるからです。

これからの広報に求められるのは、企業がどう考え、迷い、決めてきたかというプロセスを見せること。SNSや自社ブログは、その透明性を伝えるには最適です。現場の熱量や途中経過、決断の理由など、AIには真似できない“整えずぎない情報”こそが信頼を生みます。

広報は「正しさを伝える」から、「企業の歩みを等身大に伝える」へ。透明性は、これからの時代を生き抜く中小企業の新しい武器になります。



INFO

① 事務局より

動画で学ぶ「JCPSビジネスコース」配信開始!

この度、組合員の皆様の社員教育にお役立ていただけるよう、組合公式YouTubeにて、「JCPSビジネスコース」の配信を開始いたしました。

第1弾、第2弾として、以下の【社会人基礎力編】を公開中です。

【配信コンテンツ】

第1弾:「社会の一員として働くとは?」

第2弾:「ビジネスマナーの基本(第一印象と身だしなみ)」

スマートフォンやパソコンからいつでも視聴できる為、新入社員研修や日々の社員教育の教材に最適です。今後も月に約2本のペースで有益なコンテンツを配信していく予定です。

【組合公式YouTubeリンク】

<https://www.youtube.com/@JCPS-Coop/videos>

